



社会福祉法人  
ロザリオの聖母会  
千葉県旭市野中4017  
Tel (0479) 60-0600  
ホームページアドレス  
<http://www.rosario.jp>  
Eメールアドレス  
honbu@rosario.jp

## 社会福祉法人ロザリオの聖母会 平成24年度事業・決算報告書

### I 事業の概要

#### 1. 概括

##### 1-1 福祉・医療情勢

民主党政権下（当時は3党連立政権）の平成22年1月、障害者自立支援法違憲訴訟和解の条件として内閣府に設けられた障がい者制度改革推進会議では、その後多岐にわたる議論や提言が行われ、同会議傘下の総合福祉部会は平成23年8月30日付で、国連の障害者権利条約と、障害者自立支援法違憲訴訟原告団と国との基本合意文書を土台にした「障がい者総合福祉法」策定に向けた骨格提言をまとめるに至った。

一方、この動きと並行して厚生労働省では「障害者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」（通称一つなぎ法）を23年10月に施行し、24年4月には「相談支援体制の充実」「障害児支援の強化」等を施行するなどの慌ただしい動きが続いた。

その後、国政レベルで「社会保障と税の一体改革論」が叫ばれる中、「障がい者総合福祉法」ではなく、つなぎ法を一部改正した「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（通称一障害者総合支援法）」が年度早々の平成24年4月18日、衆議院厚生労働委員会で可決された。この法律では、先の提言を基に「法に基づく日常生活・社会生活の支援が、共生社会を実現するため、社会参加の機会の確保及び地域社会における共生、社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行われること」との基本理念が掲げられたこと、また、制度の谷間にある方々へのサービス提供が具体化され、難病等と言われる方々の障害福祉サービス利用が可能になったことなど一定の前進が見られ、今度は、平成24年12月16日の衆院選で圧勝した自民党政府の下で平成25年4月1日に施行されることになった。

その他の福祉関連法制度の動向としては、障害者虐待防止法が議員立法により平成23年6月17日に参議院本会議で可決成立し、平成24年10月1日に施行された。この法律では施設設置者に当該施設等における虐待防止のための措置を講じる責務が生じ、市町村には「市町村障害者虐待防止センター」を設置して虐待対応の窓口となることが求められることになった。

一方医療関係では「精神科医療の機能分化と質の向上に関する検討会」による議論が進み、平成24年6月28日付で「今後の方向性に関する意見の整理」が厚生労働省から発表された。その内容は、精神疾患患者の状態像や特性に応じた精神科病院の機能分化を進めることであり、新たな入院患者に対しては「3カ月未満」「3カ月～1年未満」「重度かつ慢性」の三つに分類して機能分化を図り、一方現在の長期入院患者については、地域移行の取り組みを推進し、外来への人員配置が可能な方策を講じつつ地域生活に近い療養環境にすることなどであった。

こちらも民主党政権下での動きなので新政権がどのように引き継いでいくかが注目される場所である。

最後に、昨今、社会福祉法人に対して、その高い公共性に鑑み地域の課題を引き受けるなどの社会貢献を求める風潮が強くなっている。それと呼応するかのように法人内部留保の存在が白眼視される傾向も顕著になってきている。税制面や補助金制度で優遇されている分を社会に還元すべきという見方である。従来、福祉事業と言えば寄付金や助成金、補助金等社会から温かい眼差しを受けることを前提に運営してきた印象があるが、格差社会の進行で各所に摩擦や軋轢を生じているような現代日本社会にあって、下方圧力としての社会福祉法人バッシングが行われている感は否めない。しかし、私たちはこのことをマイナス感情で受け止めるのではなく、社会福祉法人の存在が問われているという時代認識を確かに持ちつつ、原点に立ち帰った事業を推進することによって社会的批判に抗いたい。

## 1-2 ロザリオの聖母会

「歴史とは現在と過去との対話である」との言葉があるが、ロザリオの聖母会の24年度はその対話に終始した一年だったと言えるのではないだろうか。

何故なら、法人創設以来60年にわたる歴史、戸塚文卿神父に遡ると80年を超える歴史を持つ本会が、内包的な価値（祈りや献身性）を基盤に外延的役割（福祉諸事業の運営）を果たしてきたという事実を、いろいろな行事や活動、資料を通じて組織的かつ個人的に内面化する年だったと思われるからである。

本会は24年度事業計画において三つの事業（ロザリオ福祉まつり、創立記念式典、障害者週間行事）を創立60周年記念事業と位置づけ、全体的な取り組みとして実行することによって、創業者の精神や業績を現在員の内面の一部とするよう試みた。加えて、法人の歴史や精神をシンボライズしたロゴマークを制定することによって法人一体感を醸成することにも努めた。

このロゴマーク制定では、デザインに込められた制作者の意図や想いを知ることにより、第三者の力を借りて改めて本会の歴史や発展の意味を知ることができたように思う。過去に目を向けて現在を知り、未来を切り拓くことが後継者である私たちに与えられた使命であることを再認識するよ

い機会となった。

思えば昭和22年、小原ケイ元理事長始め創業者の方々がこの地で海上寮療養所の経営を始めた当時の使命感や献身は相当なものがあったはずである。現代の私たちは伝聞をたよりに想像するしかないが、それらが底流となって脈々と受け継がれ、現代の法人独特の空気が醸成されているのは事実であろう。対話の対象を持つ私たちは恵まれており、その中から謙虚な姿勢や社会福祉法人運営の意味を学んでいきたいと思う。

運営面の1年をふり返ると、つなぎ法が完全施行された24年4月、本会の中で最後まで新体系移行が未定だった児童福祉系施設（聖母療育園、聖母通園センター、ふたば保育園、佐原聖家族園つどいの家）が医療型障害児入所施設、療養介護、児童発達支援や生活介護等それぞれ新しい事業を選択することになった。しかし、厚生労働省から事業細目が提示されたのが年度末近くという事情もあって、定員と報酬単価との兼ね合い等をぎりぎりまで検討しながらの慌ただしい出発となった。

次に、7つの相談系事業所を地域サービス事業部に統括して運営する形も4月にスタートして、月に一度運営委員会を開いて合意と意思統一をはかりつつ諸問題に取り組んだ。

高萩福祉センターの開設準備は、4月1日に建物（校舎及び体育館）の譲渡を受けていよいよ本会の責任による事業推進の緒につくことになり、早々に開設準備室を立ち上げて種々の業務を推進した。

旭市社会福祉課長から「旭市こども発達センター」の運営を本会に委託したいと打診があったのは24年5月のことだった。海上保健センターを改修して児童発達支援事業所とし、本会専門職の力を借りることで市民の要望に応えたいとの要請を受け、内部で検討した結果、25年4月開設に向けて協力することになった。

千葉県委託事業の仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業は2年目を迎え、法人の地域貢献の一つとして不自由な生活を強いられている方々の生活再建を支援した。また、25年の1月と3月に被災地、東北地方（特に石巻市）を視察したことは関係者個々の内面を揺さぶる体験となったようで、今後の支援活動に生きるものと思われる。なお、本事業への貢献に対し年度末に厚生労働大臣から本会に感謝状が贈呈されることになった。

施設・設備整備においては、海上寮療養所の新暁の星病棟新築、高萩福祉センター改修及び耐震強化工事、東日本大震災で液状化被害を受けたグリーンハイツ等法人付帯設備の復旧、聖家族園浴室改修工事、基盤整備事業国庫補助金による諸工事等を実施することができ、環境整備が大きく進展した感がある。

施設・事業所運営に目を向けると、入所系で特徴的だったことは、海上寮療養所の病棟再編、聖母療育園の人事問題や聖家族園、佐原聖家族園の短期入所定員増などであり、通所系では、ワークセンターの第二作業棟増改築工事、聖母通園センター、ふたば保育園、つどいの家の新体系事業移行後の動きであった。また、夏休み期間の特別支援学校生を入所、通所系で分担して96人受け入れたことも地域サービスに法人全体の目が向くようになった例として印象に残るものだった。

居住支援系（グループホーム）では旭、香取とも経営が安定化傾向にある反面、世話人不足の課題が継続した

相談系は法人の地域貢献を直接実践する役割を持って活動し、同時に生活困窮者支援、療育システムづくりや就労系の障害者就業・生活支援モデル事業などの先駆的事业にも取り組んだ。

管理面では、24年度後期から人事・労務関係事務の法人一元化に向けた検討を開始して25年度に実行することになり、これで実務面での法人一体化を達成できることになった。また、秋口から25年度定期人事異動に向けた準備にかかり、施設・事業所長面接での意見交換をベースにして、人材の発掘や事務職員の異動等に取り組んだ。なお、新卒採用では法人の総力を傾注した結果19名の採用を達成することができたが、期中の常勤、非常勤職員募集は通年に及び、医療専門職だけでなく支援職等あらゆる職種における採用が思うに任せない状態だったことは、今後この地域での事業展開を企画する場合に熟慮すべき課題と言える。

最後に、24年秋に行われた印旛健康福祉センターによる社会福祉法人指導監査において、処遇関連文書に関する不備を数多く指摘されたことを重く受け止めて、全施設・事業所が25年度の重点目標に挙げて改善への取り組みを強化することになった。

### 1-3 施設・事業所

経営会議で協議した事項等を列記して報告とする。

#### ①海上療養所

- 新暁の星病棟竣工と旧暁の星病棟解体
- 病棟再編による3病棟体制
- 患者数減による経営問題
- 看護職員の派遣（聖母療育園へ）
- 院長交代

#### ②ワークセンター

- 利用率100%突破
- リサイクル置き場撤去
- 清水基金応募と現地調査
- 基盤整備国庫補助事業による作業棟増改築工事
- 海上療養所しおさいの運営

#### ③聖母療育園

- 新体系事業（医療型施設入所支援と療養介護）移行
- 医療専門職、直接処遇職員不足による職員急募
- 基盤整備事業による空調設備改修
- 読売療育賞敢闘賞受賞
- 旭市こども発達センター開設準備

#### ④聖母通園センター

- 新体系事業（生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス）移行
- 送迎車両助成申請と共同募金受配決定

- 新体系移行による運営資金借入
- 送迎バスにドライブレコーダー設置
- 25年度新規4名受け入れ
- ⑤ふたば保育園
  - 新体系事業（児童発達支援、放課後等デイサービス）移行
  - 職員欠員
  - 夏季休業中の特別支援学校生受け入れ
  - 園舎新築設計
  - 冬期合同保育（未就学児と学童）
- ⑥聖マリア園
  - 苦情対応
  - 居室整備による短期入所利用増加
  - 入所者定員割れ
  - 食堂、トイレ改修による環境整備
  - 基盤整備事業による自家発電設備整備
- ⑦聖家族園
  - 夏季休業中の特別支援学校生受け入れ
  - 短期入所定員1名増員
  - 男女浴室改修で環境整備
  - 虐待防止委員会によるサービス改善
  - 基盤整備事業による作業棟増改築
- ⑧みんなの家
  - 銀座通りたんぽぽ撤退
  - 就労継続B型と移行支援との通所率バランス
  - ベテラン調理主任の定年退職と後継者作り
  - 利用者による暴力行為
  - 基盤整備事業による屋根、外壁等修繕工事
- ⑨聖家族作業所
  - 年間平均通所率115%
  - 送迎加算で収入増
  - 夏季休業中の特別支援学校生受け入れ
  - 人事の不安定性
  - 通所更生部会研修会開催
- ⑩グループホーム支援センター
  - 中間管理職配置
  - 近隣からの苦情
  - 基盤整備事業による下立ハウスのバリアフリー化
  - 御神幸祭の御輿担ぎ
  - 長崎市グループホーム火災による旭消防立ち入り調査



- ⑪ロザリオ高齢者支援センター
  - 認知症連携パスモデル事業
  - ケアマネージャー1名異動
  - 仮設事業に係る東北地方視察
  - 事業指定更新
  - 省エネ照明器具設備
- ⑫ロザリオ訪問介護事業所
  - 期中の常勤ヘルパー異動と新規採用
  - 居宅介護支援（障害ヘルパー）の利用増
  - 事業指定更新
  - ヘルパーの高齢化
  - 省エネ照明器具設備
- ⑬デイサービスセンター・ローザ
  - 利用者数漸増傾向
  - 苦情対応
  - 土曜及び年末年始営業
  - 玄関ポーチ設置
  - 所長交代
- ⑭佐原聖家族園
  - 増改築工事により短期入所定員7名に増員
  - 虐待防止のため全職員にアンケート実施
  - インフルエンザ集団感染
  - 中間管理職欠員
  - 高萩福祉センター準備室設置と事業推進
- ⑮つどいの家
  - 新体系事業（生活介護、児童発達支援、放課後等デイサービス）移行
  - 園舎屋根改修（災害復旧）
  - 送迎車両整備
  - 親子一泊旅行
  - 5月に最高8名／日利用
- ⑯ケアホーム香取・グループホーム香取
  - たまつくりハウスをNPOに移譲で定員16名
  - 佐原聖家族園が小口現金管理
  - 利用者と世話人の関係性
  - 夜間体制の見直し検討
  - 世話人不足
- ⑰友の家
  - サービス利用計画作成
  - 法人内利用者のサービス利用計画作成問題（相談支援専門員不足）
  - 精神障害者地域移行支援事業補助金削減

- 地域生活支援センターI型への補助金削減案（26年度銚子市）
- 旭障害者支援センターとの合併検討
- ⑱海匝ネットワーク
  - 中核地域生活支援事業の市町村移管の動向
  - 仮設に日韓共同募金会共同プロジェクト
  - 旭市と被虐待者一時保護業務委託契約（ロザリオの聖母会）
  - 旭市から虐待防止センター、同基幹相談センター委託に係る打診
  - 25年度職員1名増
- ⑲旭障害者支援センター
  - サービス利用計画作成
  - 一人事業所の運営問題
  - 難病の方への支援
  - 東総権利擁護ネットワーク事務局
  - 友の家との合併検討
- ⑳東総就業センター
  - 就職後の定着率に成果
  - 地域意見発表会
  - 女性職員産休
  - ネットワーク強化・充実事業で特例子会社見学会、海匝地区就労事業者連絡会
  - 若年性認知症対策事業
- ㉑ロザリオ発達支援センター
  - 東総地域の療育を考える会総会
  - 障害児相談支援事業の指定（24年11月）
  - 臨床心理士への相談増加
  - 夏期の特別支援学校生受け入れ
  - 千葉県療育支援コーディネーター連絡協議会設立
- ㉒香取障害者支援センター
  - 虐待防止センター・基幹相談センター三町から受託
  - 職員1名加配して精神障害者地域移行対応
  - 千葉県精神障害者地域移行支援事業受託
  - 香取市から認定調査の委託依頼
  - グループホーム支援ワーカー異動検討
- ㉓香取就業センター
  - 障害者就業・生活支援センターモデル事業受託
  - 事務所補強工事
  - 難病の方の相談件数増
  - ネットワーク強化・充実事業で各種セミナー開催
  - 事務所移転準備
- ㉔本部
  - 法人創立60周年記念事業の推進

- ロゴマークの制定
- 役員感謝状贈呈
- 福祉医療機構から災害復旧資金借入と法人付帯設備の災害復旧完了
- 人事・労務事務法人一元化の検討



## 2. 法人概要

2-1 法人所在地 千葉県旭市野中4017

2-2 法人設立年月日 昭和27年5月29日

### 2-3 沿革

- 1929(昭和4)年 戸塚文卿神父が東京市外荏原にナザレトハウスを開設
- 1931(昭和6)年 矢指村野中に小家屋新築、ナザレトハウス移転
- 1935(昭和10)年 ナザレトハウスを増築し、病院組織に(海上寮・うなかみりょう)
- 1947(昭和22)年 宗教法人「聖フランシスコ友の会」が日本医療団より海上寮買い戻し
- 1952(昭和27)年 「社会福祉法人ロザリオの元后会」創設—小原ケイ理事長就任(5月29日)
- 1956(昭和31)年 結核病院である海上寮療養所に精神神経科を併設
- 1971(昭和46)年 結核病棟を廃止精神神経科の病院となる
- 1986(昭和61)年 小原清成理事長就任(12月15日)
- 1988(昭和63)年 重症心身障害児施設「聖母療育園」を開設  
(現：医療型障害児入所施設・療養介護「聖母療育園」)
- 1989(平成元年)年 法人名を「ロザリオの聖母会」に改称、法人事務局新設
- 1990(平成2)年 第1回ロザリオ福祉まつり(聖母療育園父母の会バザー)開催
- 1991(平成3)年 身体障害者療護施設「聖マリア園」を開設  
(現：障害者支援施設「聖マリア園」)
- 1994(平成6)年 知的障害者更生施設「聖家族園」を開設(現：障害者支援施設「聖家族園」)
- 1995(平成7)年 精神障害者等の無認可作業所「ワークセンター」を開所  
(現：就労継続支援B型事業所「ワークセンター」)
- 1997(平成9)年 知的障害者通所授産施設「みんなの家」を開所  
(現：障がい者の就労促進事業所「みんなの家」)  
精神障害者グループホームの運営に着手
- 1998(平成10)年 聖マリアデイサービスセンター開所(現：聖マリア園生活介護)
- 1999(平成11)年 精神障害者地域生活支援センター「友の家」を開所
- 2000(平成12)年 「聖母通園センター」で重症心身障害児者通園事業を開始  
(現：生活介護等事業所)
- 2000(平成12)年 居宅介護支援、訪問介護など老人福祉事業に着手  
(現：ロザリオ高齢者支援センター、ロザリオ訪問介護事業所)
- 2001(平成13)年 佐原市(現：香取市)に知的障害者更生施設「佐原聖家族園」を開設  
(現：障害者支援施設「佐原聖家族園」)
- 2002(平成14)年 地域生活支援センター「さわやかネット」を開所  
(現：中核地域生活支援センター「海匠ネットワーク」)

- 知的障害者更生施設「聖家族作業所」(通所)を開所  
(現:生活介護事業所「聖家族作業所」)
- 2003(平成15)年 佐原聖家族園通所部「つどいの家」を開所  
(現:多機能型事業所「佐原聖家族園つどいの家」)
- 2004(平成16)年 香取ネットワークを開所(2009年4月他法人に移管)
- 2005(平成17)年 和田ハツ江理事長就任(2月23日)
- 2006(平成18)年 香取障害者支援センターを開所  
障害児デイサービス「ふたば保育園」を開所(現:児童発達支援等事業所)  
平成9年から運営のグループホームを統括するグループホーム支援センター  
(現:ナザレの家あさひ)を開所(現:16か所)  
ケアホーム香取・グループホーム香取(現:ナザレの家かとり)を開所(現:4か所)
- 2007(平成19)年 旭障害者支援センターを開所  
東総就業センターを匝瑳市に開所(現:みんなの家併設)
- 2009(平成21)年 細渕宗重理事長就任(11月27日)
- 2011(平成23)年 海上寮に認知症訪問診療室を設置  
香取就業センターを多古町に開所  
デイサービスセンター・ローザを開所  
ロザリオ発達支援センターを開所  
桑島克子理事長就任(6月8日)
- 2012(平成24)年 法人創立60周年(5月29日)、法人ロゴマーク制定(10月22日)
- 2013(平成25)年 旭市こども発達センター開所(旭市委託事業)  
友の家に旭障害者支援センターを吸収、合併  
高萩福祉センター開所(聖ヨセフつどいの家・香取障害者支援センター・  
香取就業センター、7月1日)

**2-4 敷地面積** 104,158.19㎡(前年度103,546.94㎡)  
約31,507.8坪

**2-5 建物面積** 29,454.89㎡(前年度25,175.48㎡)  
約8,910.1坪

**2-6 施設・事業所数** 23カ所(前年度23カ所)

- (1) 入所系事業所 5カ所(前年度5カ所)
- (2) 居住支援系事業所 2カ所(ホーム数20カ所、前年度21カ所)
- (3) 通所・日中活動系事業所 7カ所(前年度7カ所)
- (4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所 9カ所(前年度9カ所)

**2-7 一日当たり利用者数** 841.5人（前年度808.8人、前々年度768.2人）

(1) 入所系事業所 428.2人（前年度409.4人、前々年度441.4人）

(2) 居住支援系事業所 84.0人（前年度87人、前々年度79人）

(3) 通所・日中活動系事業所

169.9人（前年度158.8人、前々年度147.5人）

(4) 訪問・相談等地域生活支援系事業所

159.4人（前年度153.6人、前々年度110.4人）

**2-8 職員数** 554人（前年度545人、前々年度532人）

(1) 常勤 309人（前年度303人、前々年度300人）

(2) 非常勤 245人（前年度242人、前々年度232人）

### 3. 24年度の実施事業（平成25年3月31日現在の定款第1条に基づく事業）

#### 3-1 事業内容

##### (1) 第1種社会福祉事業

- ア 重症心身障害児施設 聖母療育園の設置経営
- イ 障害者支援施設（聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園）の設置経営

##### (2) 第2種社会福祉事業（下線部は平成24年12月17日付改正）

- ア 医療保護施設 海上療養所の設置経営
- イ 障害児通所支援事業
  - a 児童発達支援（聖母通園センター、ふたば保育園、佐原聖家族園つどいの家）
  - b 放課後等デイサービス（聖母通園センター、ふたば保育園、佐原聖家族園つどいの家）
- ウ 障害児相談支援事業（友の家、ロザリオ発達支援センター、香取障害者支援センター）
- エ 老人居宅介護等事業（ロザリオ訪問介護事業所）
- オ 老人デイサービス事業（デイサービスセンター・ローザ）
- カ 老人短期入所事業（聖マリア園）
- キ 障害福祉サービス事業
  - a 居宅介護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - b 重度訪問介護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - c 同行援護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - d 行動援護（ロザリオ訪問介護事業所）
  - e 療養介護（聖母療育園）
  - f 生活介護（聖母通園センター、聖マリア園、聖家族作業所）
  - g 短期入所（聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、  
佐原聖家族園つどいの家）
  - h 共同生活介護（ケアホーム旭・グループホーム旭、ケアホーム香取・グループホーム香取）
  - i 就労移行支援（みんなの家）
  - j 就労継続支援B型（ワークセンター、みんなの家）
  - k 共同生活援助（ケアホーム旭・グループホーム旭、ケアホーム香取・グループホーム香取）
  - l 相談支援（友の家、香取障害者支援センター）
- ク 地域生活支援事業
  - a 相談支援事業（友の家、旭障害者支援センター、香取障害者支援センター）
  - b 移動支援事業（ロザリオ訪問介護事業所）
  - c 地域活動支援センターI型（友の家）
  - d 日中一時支援事業（聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、聖家族作業所、佐原聖家族園、  
佐原聖家族園つどいの家）
  - e 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）（みんなの家、佐原聖家族園）
  - f 精神障害者地域移行支援事業（友の家、香取障害者支援センター）
  - g 基幹相談支援センター（香取障害者支援センター）

- ケ 中核地域生活支援センターの受託（海匠ネットワーク）
- コ 千葉県障害児等療育支援事業の受託（聖母療育園、ふたば保育園、佐原聖家族園、  
ロザリオ発達支援センター）
- サ 障害者雇用アドバイザー（企業支援員）事業の受託（みんなの家）
- シ 障害者虐待防止センターの受託（香取障害者支援センター）

(3) 公益事業

- ア 居宅介護支援事業の設置経営（ロザリオ高齢者支援センター）
- イ 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）（みんなの家、佐原聖家族園）
- ウ 一時保護事業

### 3-2 組織

(Ⅲ 組織図参照)

## 4. 24年度重点目標実施報告（下線部は全施設・事業所の必須項目）

ロザリオの聖母会では、福祉・医療情勢や法人内の実情を踏まえて24年度に法人及び施設・事業所が取り組むべき事項を次のとおり重点目標として定め、中でも下線を付した項目は全施設・事業所の必須事項としてそれぞれの目標に落とし込むこととした。

また、設定した目標については、8月に見直しや進捗状況の確認を行うことを通じて現場や現実に立脚した着実な遂行を図るよう努めた。

### 4-1 福祉・医療情勢や動向を注視しつつ施設・事業所の安定的運営に努める。

- (1) 情勢（障害者総合福祉法や医療・介護保険制度）を踏まえた施設・事業所の将来計画と経営内容の検討
- (2) 計画的な人事異動及び中間管理職の育成・登用
- (3) 新体系事業移行の完了
- (4) 安定的な人材確保
- (5) 災害復旧、老朽化や環境改善対策の中・長期計画と資金確保
- (6) 社会福祉法人新会計基準移行準備

### 4-2 社会福祉法人に求められる課題を踏まえつつ利用者等のサービスの質向上に努める。

- (1) 地域福祉・医療への取り組み
- (2) 権利擁護、虐待防止に向けた取り組み
- (3) 専門性や特徴のある新体系事業サービスの実施
- (4) 自己評価、第三者評価結果に基づく業務改善
- (5) 個別支援計画の全体的点検と内容の充実
- (6) 利用契約書や支援マニュアルの点検、策定及び更新
- (7) 研修体制及び内容の充実
- (8) 苦情解決の仕組みの周知徹底と適切な解決

### 4-3 法人の総合的な安全衛生対策の向上を図る。

- (1) 法人全体の防災・防犯対策の向上と地震・津波への備え
- (2) 利用者等安全対策の向上
- (3) 安全運転対策の向上
- (4) I T・情報管理対策の向上

### 4-4 法人創立60周年記念事業

1952年5月29日に誕生したロザリオの聖母会（当時ロザリオの元后会）の創立60周年を記念して次の事業を計画、実行した。



- (1) 第23回ロザリオ福祉まつり —— 平成24年 9 月30日(日)
- (2) 創立記念式典 —— 平成24年10月10日(水)
- (3) 法人ロゴマークの制定 —— 平成24年10月22日(月)
- (4) 障害者週間行事 —— 平成24年12月 7 日(金)

## II 決算報告書

### 1. 貸借対照表（平成25年3月31日現在）

単位：円

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減	勘 定 科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	1,902,707,058	1,790,134,194	112,572,864	流動負債	459,251,263	301,505,772	157,745,491
				固定負債	560,801,316	480,512,191	80,289,125
				負債の部合計	1,020,052,579	782,017,963	238,034,616
固定資産	5,334,400,456	4,705,447,912	628,952,544	純 資 産 の 部			
				基本金	1,624,923,496	1,624,923,496	0
				国庫補助金特別積立金	1,303,502,142	1,115,846,322	187,655,820
				その他の積立金	865,709,630	708,509,630	157,200,000
				次期繰越収支差額	2,422,919,667	2,264,284,695	158,634,972
				前期繰越活動収支差額	2,264,284,695	1,836,902,378	427,382,317
				当期活動収支差額	158,634,972	427,382,317	△268,747,345
				純資産の部合計	6,217,054,935	5,713,564,143	503,490,792
資産の部合計	7,237,107,514	6,495,582,106	741,525,408	負債及び純資産の部合計	7,237,107,514	6,495,582,106	741,525,408

- 減価償却費の累計額 2,855,436,810円
- 就労棚卸、商品・製品44,193円＋原材料848,457円＝合計892,650円が流動資産に含まれている為、その分の892,650円流動資産－流動負債＝当期末支払資金残高とならない。  
(流動資産1,902,707,058円－就労棚卸892,650円－流動負債459,251,263円＝当期末支払資金残高1,442,563,145円)
- 次期繰越収支差額の内、1,349,994,188円は建物等の有形固定資産に、1,072,925,479円は流動資産の現金預金に対応します。

### 2. 資金収支計算書

（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）

単位：円

勘 定 科 目		予 算	決 算	差 異
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	52,988,000	52,367,616	620,384
	就労支援事業支出計	53,143,000	50,083,062	3,059,938
	就労支援事業活動資金収支差額①	△155,000	2,284,554	△2,439,554
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	3,499,210,000	3,506,760,070	△7,550,070
	福祉事業支出計	3,159,925,952	3,114,821,553	45,104,399
	福祉事業活動資金収支差額②	339,284,048	391,938,517	△52,654,469
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	299,650,950	299,641,205	9,745
	施設整備等支出計	659,025,709	655,838,056	3,187,653
	施設整備等資金収支差額③	△359,374,759	△356,196,851	△3,177,908
財務活動 による収支	財務収入計	162,205,000	162,205,000	0
	財務支出計	247,235,536	245,595,718	1,639,818
	財務活動資金収支差額④	△85,030,536	△83,390,718	△1,639,818
予備費⑤		47,755,000	0	47,755,000
当期資金収支差額合計⑥＝①＋②＋③＋④－⑤		△153,031,247	△45,364,498	△107,666,749
前期末支払資金残高⑦		0	1,487,927,643	△1,487,927,643
当期末支払資金残高⑧＝⑥＋⑦		△153,031,247	1,442,563,145	△1,595,594,392

### 3. 事業活動収支計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

単位：円

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	52,367,616	54,847,620	△2,480,004
	就労支援事業活動支出計	53,566,322	53,755,467	△189,145
	就労支援事業活動収支差額①	△1,198,706	1,092,153	△2,290,859
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	3,347,062,523	3,240,726,153	106,336,370
	福祉事業活動支出計	3,079,224,028	3,038,677,292	40,546,736
	福祉事業活動収支差額②	267,838,495	202,048,861	65,789,634
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	255,774,949	436,484,746	△180,709,797
	事業活動外支出計	240,561,617	435,609,295	△195,047,678
	事業活動外収支差額③	15,213,332	875,451	14,337,881
経常収支差額④=①+②+③		281,853,121	204,016,465	77,836,656
特別収支の部	特別収入計	299,671,524	316,525,692	△16,854,168
	特別支出計	266,572,168	182,759,840	83,812,328
	特別収支差額⑤	33,099,356	133,765,852	△100,666,496
当期活動収支差額⑥=④+⑤		314,952,477	337,782,317	△22,829,840
当期利益		314,952,477	337,782,317	△22,829,840
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	2,264,284,695	1,836,902,378	427,382,317
	当期末繰越活動収支差額⑩* <sub>1</sub>	2,579,237,172	2,174,684,695	404,552,477
	その他の積立金取崩額(+) <sup>⑦</sup>	57,582,495	213,000,000	△155,417,505
	その他の積立金積立額(-) <sup>⑧</sup>	213,900,000	123,400,000	90,500,000
	次期繰越活動収支差額⑪* <sub>2</sub>	2,422,919,667	2,264,284,695	158,634,972

\*<sub>1</sub> ⑩=⑥+⑨      \*<sub>2</sub> ⑪=⑩+⑦-⑧

### 4. 資金収支決算内訳表 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(1)

単位：円

勘定科目		法人本部	海上療養所	聖母療育園	聖母通園センター	ふたば保育園	聖マリア園	聖家族園
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	282,599,947	973,791,584	537,568,391	48,968,694	24,118,494	340,041,835	275,255,429
	福祉事業支出計	214,668,229	923,841,280	498,135,775	40,794,235	19,102,521	310,212,010	220,931,043
	福祉事業活動資金収支差額②	67,931,718	49,950,304	39,432,616	8,174,459	5,015,973	29,829,825	54,324,386
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	189,944,905	5,227,950	41,494,000	0	0	1,916,000	20,000,000
	施設整備等支出計	257,164,905	221,050,054	60,777,193	0	0	6,507,900	53,960,789
	施設整備等資金収支差額③	△67,220,000	△215,822,104	△19,283,193	0	0	△4,591,900	△33,960,789
財務活動 による収支	財務収入計	100,000,000	55,000,000	0	505,000	0	0	2,500,000
	財務支出計	58,792,432	12,870,661	15,968,500	1,395,000	2,917,943	22,728,250	17,647,375
	財務活動資金収支差額④	41,207,568	42,129,339	△15,968,500	△890,000	△2,917,943	△22,728,250	△15,147,375
予備費⑤		0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* <sub>1</sub>		41,919,286	△123,742,461	4,180,923	7,284,459	2,098,030	2,509,675	5,216,222
前期末支払資金残高⑦		341,255,347	357,841,980	201,665,284	5,777,919	10,568,878	105,003,909	85,508,969
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		383,174,633	234,099,519	205,846,207	13,062,378	12,666,908	107,513,584	90,725,191

\*<sub>1</sub> ⑥=①+②+③+④-⑤

(2)

単位：円

勘定科目		聖家族作業所	ケアホーム旭・グループホーム旭	ロザリオ訪問介護事業所	デイサービスセンター・ローザ	佐原聖家族園	つどいの家	ケアホーム香取・グループホーム香取
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	91,056,349	170,846,391	44,146,085	31,373,723	318,830,441	24,120,430	41,924,166
	福祉事業支出計	72,905,014	145,357,379	40,044,350	30,013,299	254,348,640	20,532,662	36,323,671
	福祉事業活動資金収支差額②	18,151,335	25,489,012	4,101,735	1,360,424	64,481,801	3,587,768	5,600,495
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	2,415,000	73,500	0	1,770,000	1,435,350	0
	施設整備等支出計	0	2,755,200	0	1,270,000	7,643,628	3,372,937	0
	施設整備等資金収支差額③	0	△340,200	73,500	△1,270,000	△5,873,628	△1,937,587	0
財務活動 による収支	財務収入計	0	0	800,000	0	2,500,000	0	0
	財務支出計	16,118,750	17,566,057	4,138,250	185,750	59,580,250	64,500	3,500,000
	財務活動資金収支差額④	△16,118,750	△17,566,057	△3,338,250	△185,750	△57,080,250	△64,500	△3,500,000
予備費⑤		0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* <sub>1</sub>		2,032,585	7,582,755	836,985	△95,326	1,527,923	1,585,681	2,100,495
前期末支払資金残高⑦		41,968,327	71,910,401	28,001,848	5,682,334	106,745,387	△103,900	12,167,174
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		44,000,912	79,493,156	28,838,833	5,587,008	108,273,310	1,481,781	14,267,669

\*<sub>1</sub> ⑥=①+②+③+④-⑤

(3)

単位：円

勘定科目		友の家	海匠ネットワーク	旭障害者支援センター	東総就業センター(福祉)	ロザリオ発達支援センター	香取障害者支援センター
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額①	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	27,241,746	31,067,940	6,934,220	11,905,052	18,808,268	20,742,743
	福祉事業支出計	24,241,139	29,701,146	6,450,378	11,643,960	17,769,921	20,566,693
	福祉事業活動資金収支差額②	3,000,607	1,366,794	483,842	261,092	1,038,347	176,050
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	0	0	170,000	0	147,000
	施設整備等支出計	283,500	0	0	0	0	0
	施設整備等資金収支差額③	△283,500	0	0	170,000	0	147,000
財務活動 による収支	財務収入計	0	0	0	0	0	0
	財務支出計	215,000	292,000	74,750	208,875	200,750	219,000
	財務活動資金収支差額④	△215,000	△292,000	△74,750	△208,875	△200,750	△219,000
予備費⑤		0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* <sub>1</sub>		2,502,107	1,074,794	409,092	222,217	837,597	104,050
前期末支払資金残高⑦		15,165,067	4,135,494	1,746,684	1,552,601	8,893,788	2,152,664
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		17,667,174	5,210,288	2,155,776	1,774,818	9,731,385	2,256,714

\*<sub>1</sub> ⑥=①+②+③+④-⑤

## (4)

単位：円

勘定科目		香取就業センター (福祉)	ワーセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者 支援センター	東総就業センター (公益)	香取就業センター (公益)
就労支援事業活動 による収支	就労支援事業収入計	0	12,344,217	40,023,399	0	0	0
	就労支援事業支出計	0	11,435,555	38,647,507	0	0	0
	就労支援事業活動資金収支差額	0	908,662	1,375,892	0	0	0
福祉事業活動 による収支	福祉事業収入計	10,679,203	36,957,757	89,631,086	24,343,858	11,219,238	12,587,000
	福祉事業支出計	10,333,544	31,243,333	93,570,830	18,585,173	11,112,431	12,392,897
	福祉事業活動資金収支差額②	345,659	5,714,424	△3,939,744	5,758,685	106,807	194,103
施設整備等 による収支	施設整備等収入計	0	20,000,000	14,974,000	73,500	0	0
	施設整備等支出計	137,800	39,354,900	656,250	903,000	0	0
	施設整備等資金収支差額③	△137,800	△19,354,900	14,317,750	△829,500	0	0
財務活動 による収支	財務収入計	0	0	0	900,000	0	0
	財務支出計	204,000	274,000	5,209,750	5,223,875	0	0
	財務活動資金収支差額④	△204,000	△274,000	△5,209,750	△4,323,875	0	0
予備費⑤		0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計⑥* <sub>1</sub>		3,859	△13,005,814	6,544,148	605,310	106,807	194,103
前期末支払資金残高⑦		149,760	23,657,790	49,957,464	4,858,657	1,469,361	194,456
当期末支払資金残高⑧=⑥+⑦		153,619	10,651,976	56,501,612	5,463,967	1,576,168	388,559

\*<sub>1</sub> ⑥=①+②+③+④-⑤

## 5. 事業活動収支内訳表 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

## (1)

単位：円

勘定科目		法人本部	海上療養所	聖母療育園	聖母通園センター	ふたば保育園	聖マリア園	聖家族園
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	117,227,324	938,067,317	551,689,111	47,543,973	24,373,505	354,767,354	290,668,116
	福祉事業活動支出計	170,757,487	923,380,698	507,498,028	45,668,831	18,317,435	319,753,288	226,991,765
	福祉事業活動収支差額②	△53,530,163	14,686,619	44,191,083	1,875,142	6,056,070	35,014,066	63,676,351
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	188,581,731	37,720,373	612,778	5,087,606	0	0	270,658
	事業活動外支出計	65,860,045	46,156,880	23,320,000	696,330	1,899,000	16,854,000	14,828,732
	事業活動外収支差額③	122,721,686	△8,436,507	△22,707,222	4,391,276	△1,899,000	△16,854,000	△14,558,074
経常収支差額④=①+②+③		69,191,523	6,250,112	21,483,861	6,266,418	4,157,070	18,160,066	49,118,277
特別収支の部	特別収入計	189,944,905	5,227,950	41,494,000	0	0	1,916,000	20,000,000
	特別支出計	102,356,846	64,355,417	40,461,442	0	0	1,928,088	20,018,289
	特別収支差額⑤	87,588,059	△59,127,467	1,032,558	0	0	△12,088	△18,289
当期活動収支差額⑥=④+⑤		156,779,582	△52,877,355	22,516,419	6,266,418	4,157,070	18,147,978	49,099,988
当期利益		156,779,582	△52,877,355	22,516,419	6,266,418	4,157,070	18,147,978	49,099,988
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	773,236,567	479,798,713	236,513,902	△8,386,308	14,933,669	149,764,093	82,347,151
	当期末繰越活動収支差額⑩* <sub>1</sub>	930,016,149	426,921,358	259,030,321	△2,119,890	19,090,739	167,912,071	131,447,139
	その他の積立金取崩額(+) <sup>⑦</sup>	4,649,723	54,988,077	△455,811	△119,070	0	△633,292	△450,255
	その他の積立金積立額(-) <sup>⑧</sup>	67,500,000	0	12,000,000	0	2,800,000	20,000,000	10,200,000
	次期繰越活動収支差額⑪* <sub>2</sub>	867,165,872	481,909,435	246,574,510	△2,238,960	16,290,739	147,278,779	120,796,884

\*<sub>1</sub> ⑩=⑥+⑨ \*<sub>2</sub> ⑪=⑩+⑦-⑧

(2)

単位：円

勘定科目		聖家族作業所	ケアホーム旭・グループホーム旭	ロザリオ訪問介護事業所	デイサービスセンター・ローザ	佐原聖家族園	つどいの家	ケアホーム香取・グループホーム香取
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	93,309,950	172,394,803	44,278,585	29,273,723	334,110,325	23,874,620	41,924,166
	福祉事業活動支出計	74,578,135	145,681,807	36,975,931	32,845,589	241,107,652	19,675,191	34,033,671
	福祉事業活動収支差額②	18,731,815	26,712,996	7,302,654	△3,571,866	93,002,673	4,199,429	7,890,495
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	0	200,000	0	2,100,000	498,913	265,000	0
	事業活動外支出計	6,305,000	8,408,630	3,503,000	412,000	36,054,000	1,244,000	2,290,000
	事業活動外収支差額③	△6,305,000	△8,208,630	△3,503,000	1,688,000	△35,555,087	△979,000	△2,290,000
経常収支差額④=①+②+③		12,426,815	18,504,366	3,799,654	△1,883,866	57,447,586	3,220,429	5,600,495
特別収支の部	特別収入計	0	2,415,000	73,500	0	1,770,000	1,435,350	0
	特別支出計	1,285	0	7,418	0	15,667,016	1,142,400	0
	特別収支差額⑤	△1,285	2,415,000	66,082	0	△13,897,016	292,950	0
当期活動収支差額⑥=④+⑤		12,425,530	20,919,366	3,865,736	△1,883,866	43,550,570	3,513,379	5,600,495
当期利益		12,425,530	20,919,366	3,865,736	△1,883,866	43,550,570	3,513,379	5,600,495
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	90,109,062	148,784,357	28,523,017	51,992,760	68,448,502	853,273	12,167,174
	当期末繰越活動収支差額⑩* <sub>1</sub>	102,534,592	169,703,723	32,388,753	50,108,894	111,999,072	4,366,652	17,767,669
	その他の積立金取崩額(+) <sup>⑦</sup>	△291,872	△506,483	466,662	0	0	123,785	0
	その他の積立金積立額(-) <sup>⑧</sup>	15,500,000	16,000,000	3,900,000	0	53,000,000	0	3,500,000
	次期繰越活動収支差額⑪* <sub>2</sub>	86,742,720	153,197,240	28,955,415	50,108,894	58,999,072	4,490,437	14,267,669

\*<sub>1</sub> ⑩=⑥+⑨      \*<sub>2</sub> ⑪=⑩+⑦-⑧

(3)

単位：円

勘定科目		友の家	海匠ネットワーク	旭障害者支援センター	東総就業センター(福祉)	ロザリオ発達支援センター	香取障害者支援センター
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	0	0	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	0	0	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	27,611,824	26,405,800	5,130,295	11,802,052	18,002,889	14,452,161
	福祉事業活動支出計	24,695,579	29,541,094	6,051,269	11,587,835	17,476,042	20,561,784
	福祉事業活動収支差額②	2,916,245	△3,135,294	△920,974	214,217	526,847	△6,109,623
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	387,000	4,662,140	1,837,000	103,000	902,000	6,290,582
	事業活動外支出計	865,000	525,000	507,000	265,000	607,000	265,000
	事業活動外収支差額③	△478,000	4,137,140	1,330,000	△162,000	295,000	6,025,582
経常収支差額④=①+②+③		△86,754	1,001,846	409,026	52,217	821,847	△84,041
特別収支の部	特別収入計	0	0	30,319	170,000	0	147,000
	特別支出計	3	0	29,984	0	0	10,964
	特別収支差額⑤	△3	0	335	170,000	0	136,036
当期活動収支差額⑥=④+⑤		△89,757	1,001,846	409,361	222,217	821,847	51,995
当期利益		△89,757	1,001,846	409,361	222,217	821,847	51,995
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	12,241,141	4,246,336	1,746,415	1,552,601	8,997,476	2,304,721
	当期末繰越活動収支差額⑩* <sub>1</sub>	14,679,383	5,248,182	2,155,776	1,774,818	9,819,323	2,356,716
	その他の積立金取崩額(+) <sup>⑦</sup>	△411,261	0	0	0	0	0
	その他の積立金積立額(-) <sup>⑧</sup>	0	0	0	0	0	0
	次期繰越活動収支差額⑪* <sub>2</sub>	14,268,122	5,248,182	2,155,776	1,774,818	9,819,323	2,356,716

\*<sub>1</sub> ⑩=⑥+⑨      \*<sub>2</sub> ⑪=⑩+⑦-⑧



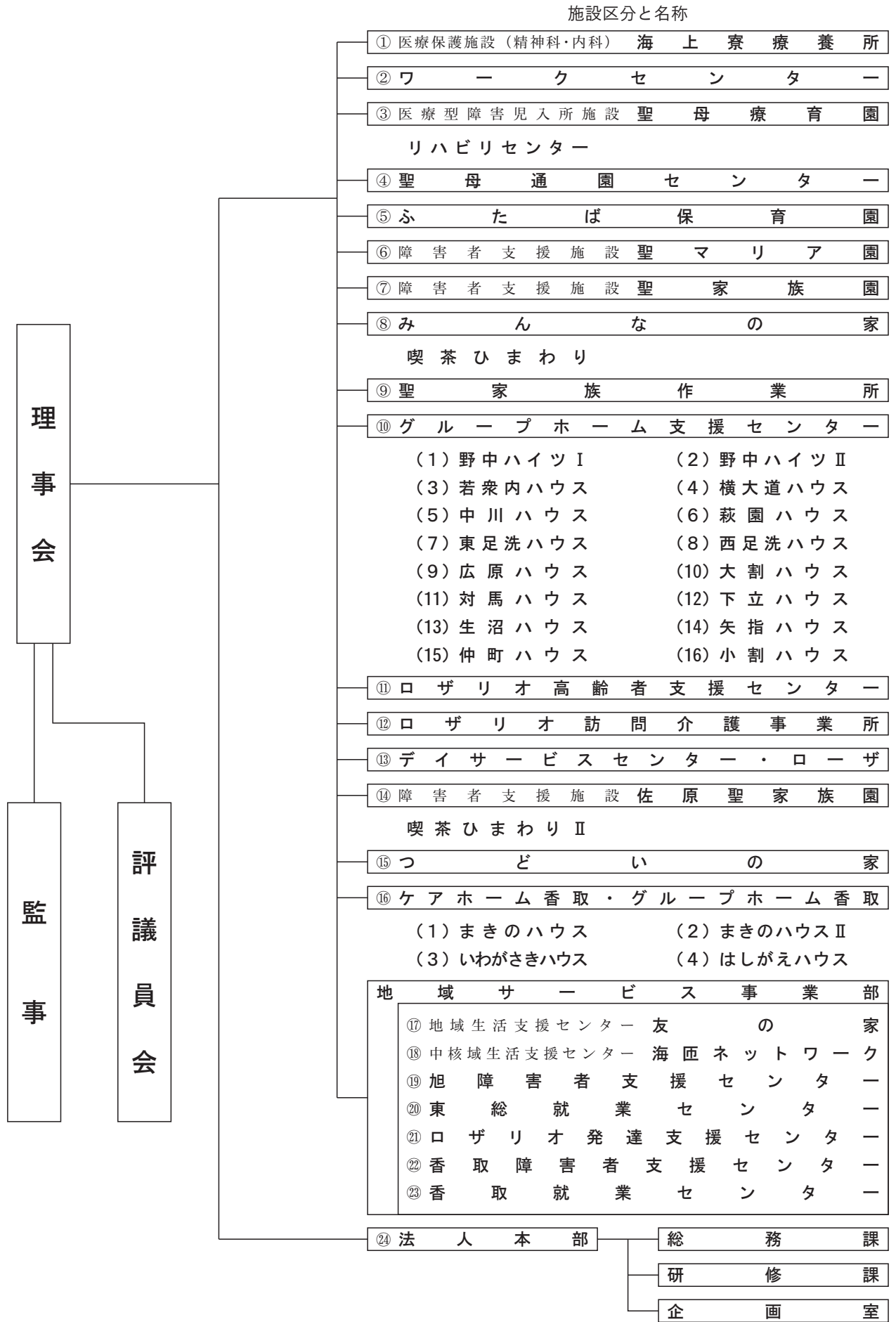
## (4)

単位：円

勤 定 科 目		香取就業センター (福祉)	ワーセンター	みんなの家	ロザリオ高齢者 支援センター	東総就業センター (公益)	香取就業センター (公益)
就労支援事業活動 収支の部	就労支援事業活動収入計	0	12,344,217	40,023,399	0	0	0
	就労支援事業活動支出計	0	11,557,337	42,008,985	0	0	0
	就労支援事業活動収支差額①	0	786,880	△1,985,586	0	0	0
福祉事業活動 収支の部	福祉事業活動収入計	10,592,772	37,214,949	89,623,953	19,621,718	11,146,238	11,955,000
	福祉事業活動支出計	9,967,132	31,762,782	89,310,832	17,813,843	10,797,431	12,392,897
	福祉事業活動収支差額②	625,640	5,452,167	313,121	1,807,875	348,807	△437,897
事業活動外 収支の部	事業活動外収入計	96,000	0	733,028	4,722,140	73,000	632,000
	事業活動外支出計	580,000	966,000	6,270,000	1,565,000	315,000	0
	事業活動外収支差額③	△484,000	△966,000	△5,536,972	3,157,140	△242,000	632,000
経常収支差額④=①+②+③		141,640	5,273,047	△7,209,437	4,965,015	106,807	194,103
特別収支の部	特別収入計	0	20,000,000	14,974,000	73,500	0	0
	特別支出計	137,800	20,442,044	13,172	0	0	0
	特別収支差額⑤	△137,800	△442,044	14,960,828	73,500	0	0
当期活動収支差額⑥=④+⑤		3,840	4,831,003	7,751,391	5,038,515	106,807	194,103
当期利益		3,840	4,831,003	7,751,391	5,038,515	106,807	194,103
繰越活動 収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑨	149,760	39,825,975	62,556,383	△208,812	1,469,361	194,456
	当期末繰越活動収支差額⑩* <sub>1</sub>	153,600	44,656,978	70,307,774	4,829,703	1,576,168	388,559
	その他の積立金取崩額(+) <sup>⑦</sup>	0	0	△677,708	900,000	0	0
	その他の積立金積立額(-) <sup>⑧</sup>	0	0	4,500,000	5,000,000	0	0
	次期繰越活動収支差額⑪* <sub>2</sub>	153,600	44,656,978	65,130,066	729,703	1,576,168	388,559

\*<sub>1</sub> ⑩=⑥+⑨      \*<sub>2</sub> ⑪=⑩+⑦-⑧

### III 組織図 (平成25年3月31日現在)




社会福祉法人ロザリオの聖母会  
理事長 桑島 克子 様

## 監 査 報 告 書

平成25年5月16日付で、平成24年度の理事の業務執行状況、事業報告及び決算書の内容について監査したところ、概ね良好に処理されていると認められたのでここに報告します。

平成25年5月16日

監 事 高野 文夫 

監 事 加藤 博 